

火災番号

様式第20号(表)

火災損害申告書(車両・船舶・航空機)

年 月 日

仙台市 消防署長 様

申告者 住 所
職 業
氏 名
電話番号

1	り災年月日	年 月 日	損害物件と 申告者の関係	所有者・管理者・占有者	
	り災場所	仙台市 区			
2 (車両)	運転者氏名		車名・年式		
	用途別		購入年月	年 月	
	車両番号		購入金額	円	
	焼けた箇所	消火のために濡れた、 汚れた、壊れた箇所	爆発で破損した箇所	その他	
3 (船舶・航空機)	船長・機長名		船名・機名		
	用途別・機種		就航年月	年 月	
	トン数・最大 積載重量		購入金額	円	
	焼けた箇所	消火のために濡れた、 汚れた、壊れた箇所	爆発で破損した箇所	その他	
4 (積載物)	焼けた箇所	消火のために濡れた、 汚れた、壊れた箇所	爆発で破損した箇所	その他	
	損害物件との関係	所有者・管理者氏名			
5	火災保険契約会社名		保険金額	万円	

様式第20号（裏）

火災損害申告書（車両・船舶・航空機）記載要領

1の欄

- 1 損害物件と申告者との関係は、あてはまるものを○で囲んでください。
- 2 り災場所の欄は、車両などが火災になった場所を記入してください。

2の欄

- 1 用途別の欄には、貨物、乗用、タクシー、乗合バス、機関車、客車などの別を記入してください。
- 2 車両番号の欄には、陸運局に届け出ている車両登録番号などを記入してください。

3の欄

用途・機種別の欄には、客船、貨物船、旅客機、観測機、練習機などを記入してください。

4の欄

積載物の欄には、損害を受けた物の品名と時価に見積もった損害額を記入し、また、申告者と所有者が異なる場合にのみ氏名を記入してください。

5の欄

車両等の火災保険に加入している場合のみ記入してください。

備考

- 1 この申告書は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。
- 2 この申告書は、1台（機・艘）ごとに提出してください。
- 3 この申告書は、り災した日から起算して7日以内に提出してください。
- 4 火災による罹災証明を発行する場合、この申告書が出ていると早く発行することができます。
- 5 この申告書でわからないことがありましたら、下記消防署までご連絡ください。

<input type="checkbox"/> 仙台市青葉消防署	022-234-1121	<input type="checkbox"/> 仙台市太白消防署	022-244-1119
<input type="checkbox"/> 仙台市宮城野消防署	022-284-9211	<input type="checkbox"/> 仙台市泉消防署	022-373-0119
<input type="checkbox"/> 仙台市若林消防署	022-282-0119	<input type="checkbox"/> 仙台市宮城消防署	022-392-8119